科目名		担当教員	
福祉思想論		元村　智明	
科目コード	単位数	履修方法	配当年次
DH2109	2	R	1 年以上
生成 AI 利用レベル	レポート　：　C	試験：　C	

科目の概要

■科目の内容

ここでは、日本における社会福祉の具体的なあゆみのなかで福祉思想について理解を深めていただきます。それは社会福祉実践、及び社会福祉学研究の対象の特性に尽きます。福祉の対象とは、人間の生きる過程に生じた諸々の生活問題、具体的には一人ひとりの人生に到来した苦しみ、悩み、悲しみの事象といえます。それへの社会的対応として登場したのが、現在の社会保障制度や社会福祉援助活動（ソーシャルワーク）です。もちろん施策・制度の充実も必要ですが、究極的には実践等を営む人間の思想、社会や人間に対する考えられた志操、そして生き方が厳しく問われることは言うまでもありません。そのためにも私たちの先達である方々の福祉実践の底流にある視点と考えに基づく実践について丁寧に学ぶ必要があります。幅広く奥行きの深い科目ですが、これまでの社会福祉のあゆみのなかで、どうぞ自らの思想を涵養するためにも受講されてください。

■到達目標

１）前近代社会の福祉実践と思想の特色について、政治や宗教、地域社会から簡潔に述べることができる。
２）近代社会の福祉実践と思想の特色について、救済制度と慈善事業から簡潔に述べることができる。
３）現代社会の福祉実践について戦前の制度と実践を踏まえて、現在の福祉思想を述べることができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 60%＋科目修了試験 40%

■教科書・参考図書

【教科書】

池田敬正著『日本における社会福祉のあゆみ』法律文化社、1994 年

【参考図書】

吉田久一著『日本の社会福祉思想』勁草書房、1994 年

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	福祉から社会福祉へ （序）	「福祉」と「社会福祉」が異なり、福祉に社会が追加されることについて理解する。	福祉実践および社会福祉学の基盤となる「福祉」そのものについて考える意義について学習してください。
2	儒教の徳治と福祉 （Ⅰ－2）	儒教思想と政治がいかに関わり福祉の実現に関連するかについて理解する。	前近代社会において政治道徳の思想である儒教がいかに古代国家や封建領主の慈恵策に関わり、儒者の救済論が展開したかについて学習してください。
3	仏教の慈悲と福祉 （Ⅰ－3）	日本における仏教の慈悲の実践が果たす役割を通して福祉の実現について理解する。	聖徳太子と国家仏教について理解したうえで、自力作善、他力本願と福祉の実現について学習してください。
4	地域相扶と公共救済 （Ⅰ－4）	日本社会の地域相扶の制度化と儒学者の思想、地域社会における公共救済について理解する。	古代社会からの隣保相扶、三浦梅園の慈愛、大坂の町方施行、江戸の町会所救済の思想と地域社会における福祉の実現について学習してください。
5	明治維新と恤救規則 （Ⅱ－2）	近代日本の救貧法のもつ特質とそれを補う救済制度について理解する。	近代日本の天皇の慈恵的救済、恤救規則の制限救助主義・官治主義・慈恵主義と各救済制度について学習してください。
6	救済事業の展開 （Ⅱ－3）	救済事業の 2 つの流れと窮民収容施設・児童保護・医療保護について理解する。	窮民収容施設について地域社会の民間施設と道徳的・宗教的な視点に基づく個人事業、対象別の保護から福祉実践について学習してください。
7	救済と慈善の思想 （Ⅱ－4）	慈恵主義に基づく救済思想と自由主義的傾向の慈善事業思想について理解する。	明治国家の慈恵主義、慈善事業思想の諸相、国家主義的救済論、貧困の社会的発見について学習してください。
8	救貧法制構想 （Ⅱ－5）	義務救助主義救貧法の未成立とそれに代わる特別救護立法の成立について理解する。	制限救助主義救貧法である恤救規則の限界と 4 つの義務救助主義救貧法の未成立、一般救護に対する特別救護立法の成立、明治 41 年内務省地方局通牒の意味について学習してください。
9	慈善事業 （Ⅱ－6）	慈善事業の本格的展開について対象別の展開とその創設者の志操と福祉実践の内容について理解する。	児童保護事業・養老事業・婦人保護事業・経済保護事業・軍事援護事業等の対象別の事業について、その創設者の取り組み、慈善事業の社会化・組織化について学習してください。
10	感化救済事業 （Ⅱ－7）	感化救済事業と地方改良事業について理解する。	社会政策が必要ななかで日本社会では、道徳主義的傾向に基づく政策展開の感化救済事業と地域の「自治自営」を強調する地方改良事業について学習してください。
11	社会事業思想の形成 （Ⅲ－2）	2 つの社会連帯思想とそれに連なる社会事業理論について理解する。	社会調査にもとづく社会問題（論）の成立、ドイツ歴史学派の社会有機体説と天賦人権説に基づく市民的平等論、国家主義的社会事業理論と民主主義的社会事業理論、国民福祉論の展開を学習してください。

12	社会事業行政の展開と社会事業の進展 （Ⅲ－3・Ⅲ－4）	社会事業行政機関が整備される意味と社会事業の展開について理解する。	救済事業調査会の設置に始まる行政機関の整備とそれを補完する方面委員制度、一般救護と軍事救護、経済保護・児童保護・医療保護、セツルメントの実践について理解してください。
13	救護法の成立と社会事業の国家統制 （Ⅲ－5・Ⅲ－6）	義務救助主義の救護法の成立と社会事業の国家統制について理解する。	恐慌による国民生活の破綻と救貧行政の転換、救護法の成立、社会事業調査会答申・軍事扶助法・母子保護法・社会事業法の成立について学習してください。
14	社会保険制度の形成 （Ⅲ－7）	現代の日本社会に社会保険が成立する意味について理解する。	共済組合の形成、健康保険制度、年金保険制度の成立について日本社会の歴史的かつ思想的背景から権利性の弱さを学習してください。
15	アジア・太平洋戦争下の厚生事業 （Ⅲ－8）	厚生事業理論と厚生事業の展開について理解する。	戦時下の健民健兵政策と厚生事業理論の提起とその展開、社会事業の国家管理である医療保護法・戦時災害保護法について学習してください。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	日本における前近代社会の福祉の考え方、近代日本の福祉の考え方、戦前日本社会の福祉の考え方の三点について段階的に整理しながら論述し、今日の社会福祉の必要性について述べてください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

日本の福祉思想は、日本社会で古代国家が成立するために欧米に比べて福祉に対する考え方の差異がうまれます。それは社会福祉に対する思想において、欧米とは同一視できない歴史的社会的背景があることを意味します。日本の福祉思想の理解にとって重要なことは、東アジア社会の儒教道徳による政治的慈恵の成立と宗教のなかでもとりわけ仏教による慈悲の実践が密接に関わりをもち、地域社会における助け合い（相互扶助）が前近代社会に成立して福祉が実現する点にあります。

そして自由社会となる近現代社会の日本の福祉思想には、前近代社会からの影響があると指摘できます。そのことは、近代日本の恤救規則の救済率の低さや現代日本のアジア・太平洋戦争下での救護諸法の権利性の弱さや、さらには戦後から現在に至る社会福祉の権利性にも関連します。

そのため現在の社会福祉を理解していただくために、少なくとも戦前日本社会までに成立した法制度と福祉実践への理解とその思想への理解は必要不可欠となります。

特に、学習を始めるにあたって教科書の次の項目について一読されることをおすすめします。まず、前近代社会について述べられている「社会共同の展開と生活援助」（Ⅰ-1）、次に、自由社会となる近代社会を取り上げる「社会共同の解体と生活援助」（Ⅱ-1）、そして最後に、現代社会を理解するための「社会共同の再生と生活援助」（Ⅲ-1）を一読してみてください。その通読から、人類のあゆみのなかにおける生活支援の思想の変遷と福祉理念の変化を把握することが可能です。

そして、在宅学習の 15 のポイントに取り組まれると日本社会の生活支援の考え方が、欧米とは異なるものとして歴史的かつ社会的に、福祉の理念問題・思想問題として把握することができます。まずは、教科書全体像を把握することを目的として３つの異なる段階の生活支援の理解を捉えることからおすすめします。

さらに、在宅学習の 15 のポイントを学習した後に、戦後日本社会が論述される該当頁を読まれることで現在の 21 世紀社会の社会福祉へのつながりが見えてきます。ここでは、純粋な哲学的発想ではなく、実際の日常生活に密着した過去の福祉実践とその思想を戦前日本社会まで理解することによって、戦後日本の福祉思想を考えていこうとする姿勢と学びがとても重要です。

【1 単位めアドバイス】

教科書を精読して、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

在宅学習の 15 のポイントを踏まえて教科書の「社会共同の展開と生活援助」（Ⅰ-1)、「社会共同の解体と生活援助」（Ⅱ-1)、「社会共同の再生と生活援助」（Ⅲ-1）を再読したうえで、日本社会の福祉実践とそれを支える福祉思想を把握してください。政治や宗教、地域社会における福祉実践についての理解を深め、福祉実践とその思想を簡潔に述べてください。日本の福祉を考えたとき、どのような考え方や意識をもち、今日までの福祉の思想の流れを捉えるか、そして、これからの時代に何が望まれるかを考えてください。

科目修了試験

■評価基準

教科書の内容理解に努めること。